

自然を愛し、山を愛し、人を愛し、変わらぬ友情を育む

TTC通信

丹沢トレッキングクラブ 代表：佐藤 清 TEL:046-248-1683 URL:http://outdoor.geocities.jp/ttc_atugi/

山行希望アンケート締切日を延長。

提出にご協力を！

11月例会提出締切でお願いしてありました来年度山行希望アンケート回答の回収が11/19(土)時点で、22名と50%を下回っている状況であることから、締め切り日を11/30まで延長して、未提出のメンバからの提出を待つことになりました(提出先：削除)。このアンケート回答の集計結果は、来年度活動方針の中心となるTTC主催年間山行計画を策定する上でもっとも重要な参考資料となるものです。皆々様のご理解とご協力を宜しくお願ひ致します。なお、11/23現在の回答受領総数は27名／提出率:56.3%と、今一つの状況です。今一段のご協力をお願ひ申し上げます。

15周年記念誌編集進捗状況

11月例会開催時点での「やまなみNo.3」の編集作業の進捗状況は、一部遅れがあるものの、ほぼ予定通り進展しています。2012.3.10(土)開催予定の2012年度総会の席上で15周年記念誌「やまなみNo.3」を皆様にお手渡しできるよう各担当者鋭意努力中です。ご期待下さい。

山行実施結果報告

★箱根金時山(定例)★★11/5

(土)日帰、公共交通利用。参加13名。天候:晴後曇。CL、SL、救護:スタッフ名削除。金時山頂上付近の紅葉は見頃、桃源台登山口～丸岳間は、背の高いハコネギクとリュウノウギクが群生。雲量は多かつたが富士山の眺望あり。乙女峠まで4時間とかなりのロングコース。帰路仙石からの道路は大渋滞で小田原まで1.5時間を要す。

★西丹沢檜洞丸(提案)★★11/12(土)日帰、マイクロバス利用。参加

15名。天候:曇時々晴。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。県民の森コースはTTCでは初挑戦のマケートで、石棚尾根に出るまで急登の連続。ツヅ新道の下りは計画より40分オーバーの3時間強を要す。

至近の山行予定

◇奥多摩刈寄山(提案)★★11/26(土)日帰、ハイエース利用。参加予定12名、CL、SL会計:、救護:スタッフ名削除。登山口を五日市側戸渡橋口から八王子今熊神社口に変更。帰路つるつる温泉入浴予定。

◇奥武藏城峯山(提案)★☆12/3(土)日帰、マイクロバス利用。申込:13名。CL、SL、会計:教護:スタッフ名削除。マイクロバスの下山口への回送ルート変更。城峰公園でフュザゲラ見物予定。

◆西丹沢中川温泉忘年山行(定例)★★12/17-18;1泊2日、公共利用。申込33名。CL、SL、会計:、救護:別途、スタッフ名削除。ミバ岳登山ルート崩落のため、ミバ岳を割愛し、世附権現山に直接登るコースに変更します。忘年会のみ参加メンバは宿泊先の中川温泉:うぐいすの里丹沢山荘(TEL0465-78-3631)に4:00pm頃までに集合下さい。忘年会席上で皆様から提供頂いた登山グッズ等の東日本大震災チャリティーオークションを実施。翌朝12月例会を開催しますので、必要資料をお忘れなくご持参下さい。

◇丹沢菰釣山(提案山行)★★12/31-1/01;1泊2日。マイクロバス利用。CL、SL、会計:、救護/食当:スタッフ名削除。菰釣山避難小屋で元旦を迎える初日の出と初富士を拝す。

山の花、野の花

リュウノウギク【竜脳菊】(桔梗科キク属の多年草)/ハコネギク【箱根菊】(キク科シオン属の多年草)

リュウノウギクは10-11月の晩秋に日当たりの良い山道の土手等に咲く野菊の代表。花は白～淡紫色。背丈30-80cmで葉は菊の葉に似る。本州福島・新潟以西～四国・宮崎に分布する日本固有種。晩秋の丹沢や箱根の山でよく見かける。葉や茎が竜脳に似る香りがすることから名付けられたというが、実際は樟脳に近い香りがする。ハコネギクは関東や中部の山地の草原に8-10月頃白～淡青色で、リュウノウギクによく似た花を茎先に1輪咲かせる。背丈は30-60cm。ハコネギクの葉は卵状長楕円形で葉縁に浅い鋸歯があり、粘々しているので、リュウノウギクと葉形状で区別が付く。今回の金時山行(2011.11.5)で、長尾峠から丸岳の尾根筋にこの種の花が沢山咲いていたが、葉の形状からいはずれもリュウノウギクで、ハコネギクの花はなかった。



リュウノウギク 11.11.5 箱根長尾峠付近



ハコネギク



ハコネギクの葉

12月例会募集山行

◆矢倉岳新年山行(定例)★☆

1/7(土)日帰、公共交通利用。下山後本厚木にて希望者のみで新年会開催予定。要アゼン。

◇丹沢鍋割山(提案)★★

1/28(土)日帰、公共交通利用。ミヅヒ大滝見物。要6本爪アゼン。

◇西沢渓谷氷瀑鑑賞(提案)★

★2/11(土)日帰、マイクロバス利用。五段七ツ釜の滝まで氷の芸術鑑賞ハイキング。要6本爪以上アゼン。

◆湯河原南郷山・幕山(定例)★

☆2/25(土)日帰、公共交通利用。観梅と相模湾大展望。帰路温泉可(オプション)。

安全登山豆知識

国土地理院HP無料公開「地図

閲覧サービス」(ウォッちず)が

1/25000地形図情報から電子国 土基本図に全面切り替え

TTCの中でも坂本さんの手ほどきで、日本国土地理院HPの「地図閲覧サービス」(ウォッちず)から、必要な地図データをダウンロード・印刷して、1/25000地形図として使用しているメンバーが目立つようになってきた。

これまでのウォッちずには1/25000地形図情報が使用されていたため、紙に印刷されて販売されている最新版の1/25000地形図と基本的に同じ表記法で両者に違いがなかった。しかし、2011年2月1日より1/25000地形図データから「電子国土基本図」に全面切替えられた。ところが新電子基本図はこれまでの1/25000地形図の表記内容と種々の点で相違があるため、登山者から戸惑いと不満の声があがっているという。

GPSで得た高精度の位置情報をコンピュータ上で地形図情報と一緒に化して高精度な電子デジタル情報として活用できるようになってきた。そこで国土地理院では、三角点やビル等の建造物を位置基準点とした[基盤地図情報]を整備してきた。この地図情報データの精度は、都市部では1/25000地形図を遙かに凌ぎ、それ以外の地域でも1/25000地

形図と同等以上だという。そこでこの基盤地図情報を1/25000地形図情報に移行・統合して誕生したのが「電子国土基本図」だ。今後基盤地図情報が更新されたり、道路・鉄道・橋・大規模建築物等が建設された場合、設備管理者からの修正情報に基づいて、速やかに「電子国土基本図」が最新版修正される体制が整った点は、相当古い情報のまま印刷販売されている1/25000地形図に比べて、常に最新情報に更新される「ウォッちず」は格段に改善されたと評価出来る。

ただし、「電子国土基本図」では、細かい表記を避ける等の変更が成されたため、1/25000地形図で表記されている土崖、岩崖、岩石、堰、干潟、湿地、砂礫地、万年雪等の表記条件が変更(小さいものは削除)、送電線、記念碑、植生界等の表記が削除、踏切、高層建物、公園等の表記が追加。登山道の表記方法が変更(道幅1m以上は実線、未満は点線、手入れの悪い登山道は削除)等、その変更は大幅で、1/25000地形図との違いに留意する必要がある。なお、上記内容は今後改訂される1/25000地形図に反映されるが、送電線等の表記は当面1/25000地形図から削除しないとい。

山に想う

大人の遠足

#36 氏名削除

TTC創立15周年記念登山イベントの成功おめでとうございます。この15年の長きにわたり、創立当初から会の発展のためにご尽力された三村様、佐々木様には特に感謝申し上げます。

さて、私といえば入会させていただいたて早14年。お陰様で思いもかけなかった日本百名山も達成でき、今年の15周年記念リレー登山にも元気で参加することができました。

少し前まではあの山へ、そしてこの山へと胸が騒ぎ、今思うと夢のような山域まで挑戦して、たくさんの至福を味わうこ

とができました。しかし、悲しいかな「心は若くても??体力と相談して…」と、最近は少し気持ちが後退していました。

そんな折、私が尊敬する登山家&イラストレータN氏に、先日お目にかかる機会があり、改めてN氏の本を読んでみました。それは2007.10個展に行って購入したものでした。あの頃の自分はまだ少し体力もあったのか、気にも留めず本を読んだのかも知れませんが、ふとこうして読んでいると、私の応援歌のようにジーンと胸に飛び込んできた言葉がありました。

『山の楽しさは登った数でもなれば山の高さで計れるものでもない。どんな小さな山にだって、楽しみはいつも待ち受けている。道草を食いながらの山歩きは言ってみれば「大人の遠足」。フリーな気分でのんびり山歩きをしてみたい。』(一部抜粋)まさに今の私の心境にピッタリなのです。

そう言えば、今年の15周年イベント登山で選択したDコース(唐松岳~五龍岳)は、道草を食いながらのんびりと、ゆったり計画で、まさにN氏の言われる登山でした。

これからは、年齢に応じたそんな「大人の遠足」を目指し再スタート。何だかわくわくしてくる自分がいます。

次回は(氏名削除)さんの登場です。

編集後記

東日本大震災で大きく変動してしまった東京港区の「日本水準原点」の再測定についての話題をTTC通信6月号の「安全登山豆知識」で述べたが、10/18に国土地理院から測定結果が発表された。今回の大地震で標高が2.4cm低くなり、24.39mになったという。水準点の変動は1923年の関東大震災以来の出来事。8.6cm低下した関東大震災時より沈下量は少なかったようだ。標高は東京湾の平均海面高を基準にしているので、水準原点の変動によって山岳の標高が変わることはない。

12月例会:12/18(日)西丹沢中川温泉丹沢山荘(忘年山行宿泊先)。安全登山教室・世話人会は休み。